

所弓便

第12号

所沢市弓道連盟会員 251名

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

所弓連会員数

11月20日現在の会員数は251名です。

25年6月以降新たに入会された会員
皆さんよろしくお願ひします。

工藤由紀	宮本敏弘	中村仁昭	並木裕加
岸 征子	杉よし子	宮嶋重明	石塚正徳
長谷部元美	新井寛子	山本小百合	立石悦子
岡林正和	吉田智美	小川真由子	釜石文恵
青山恭子	近藤麻美	木村美苗	木村 葵
沢野峻介	ジャン ウェジョン		

昇段・昇格

平成25年4月1日以降25年11月末まで
昇段・昇格おめでとうございます。

錬士	春田孝正		
六段	甲斐久歳	松寄 昇	
五段	奥富季乃	山本雅子	
四段	竹下正博	小山 等	黒木智哉
三段	名雪正義	鈴木慎一	家長知史
二段	松浦篤子	新井忠文	安立倫生
	林 義照		
初段	長谷川昌史	柚山博文	中西誠一

部長会・理事会・総会

4月 7日

第1回部長会：理事会及び総会対応

4月13日

第1回理事会（参加35名）：総会資料の説明

4月20日

25年度総会出席60名（委任状81名）

6月16日

第2回部長会：各部事業経過報告に関する件外

8月17日

第3回部長会：第2回理事会について

8月25日

第2回理事会（参加33名）：年度後半の各射
会運営について

第46回武州弓道大会

11月23日(土・祝)、所沢市民武道館において、恒例の「熊野神社弓祭・第46回武州弓道大会」が開催されました。朝から穏やかな陽の射す絶好の天気にも恵まれ、近隣都県より432名という大勢の弓友の参加を得て、熱い戦いが繰り広げられました。

武州弓道大会は昭和40年に所沢および近隣の弓道愛好家により、日ごろ培った技を競い、体育の向上と豊かな社会生活を願って始められて以来、今年第46回を迎える歴史と由緒のある大会です。熊野神社弓祭という冠がついている通り、従来熊野神社境内の市弓道場にて開催されておりましたが、規模の拡大と駐車場の関係もあり、3年前より武道館に会場を移して開催されております。

当日7時半に、連盟代表者出席のもと、熊野神社にて大会の安全と成功を祈願してお祓いを受けました。大会々場では全員で熊野神社に遥拝。

新家 透大会会長の開会挨拶に続き、藤本正人市長の名代で大館 勉副市長、村上 浩市議会議長の名代で岡田しずか副議長、並木正芳連盟顧問に激励のご挨拶を頂き、次いで、射手 新家 透会長、介添 甲斐久歳、上橋 宏両錬士による矢渡の

あと、熱戦の火蓋が切られました。



(矢 渡)

4射2中以上の予選通過選手は223名(51.6%)。内25名が4射皆中賞を獲得。

決勝射詰は2射ずつで競われましたが、皆中者は1回目56名、2回目19名。決勝3回目からは8寸的となり、2射皆中者は8名。息詰まる接戦の中、4回目で3名に絞られ、5回目にただ一人的中させた茨城県蒼藤会の山口 純選手(昨年第45回5位、体育協会賞受賞)が栄えある優勝を飾り、優勝トロフィーと賞品の竹弓を獲得。その他25位までの入賞者が、竹矢、矢筒、ジュラ矢など豪華な賞品を獲得して大喜びでした。

最後に草賀 淳大会委員長の講評のあと、また来年の再会を約して無事お開きとなりました。

今回、所弓連関係では、大会の運営に精力を使い果たしたためか、入賞者は4位の山田大介選手ただ一人と、残念な結果に終わりました。

武州大会は所弓連の最大行事ですが、参加者が、お手伝いだけに来て頂いた会員も含めて77名。

いろいろ都合や事情はあるとは思いますが、250名を超す会員を擁する組織としてはちょっと寂しい気がします。来年はより多くの会員に参加して頂けることを期待したいと思います。

なお、今年も14名が参加し、一生懸命矢取りに協力してくれたスポーツ少年団の弓友諸君に感謝致します。

市弓道場メンテナンス

4月17日

安土屋根天井板修理並びに矢道芝施肥及び除草
剤散布

5月14日

矢道芝刈り(1回)

5月23日

危険防止用矢止め板塗装

6月11日

矢道芝刈り(2回)

7月 5日・17日

安土前の土間工事及び補正工事

7月 8日

矢道芝刈り(3回 今年芝の伸びが甚だしい)

8月 1日

矢道芝刈り(4回)

8月 2日

安土前の土間再工事

8月29日

安土前の土間に人工芝を敷く(春田先生錬士昇格記念の寄贈)



(設置後、矢の損傷が減少)

8月30日

矢道芝刈り(5回 今年繁茂力強い)

9月11日

矢道芝刈り(6回)

10月11日

矢道芝刈り(7回 平年より3回程多かった)



(名人によるいつもの芝刈り風景)

【指導部】

定期講習会

平成25年4月から平成25年8月末までの
講習会受講者数

橋田教室(毎月第1木曜日、第3土曜日)

受講者延 49名

土曜講習会(草賀 淳先生)(毎月第2土曜日)

受講者延 95名

水曜講習会(見原重信先生)(毎月第4水曜日)

受講者延 78名



(講習会の成果如何)

所弓連四段以下講習会

7月27日(武道館)

講師: 草賀 淳先生

受講者: 9名

初心者弓道教室

初心者弓道教室

期間: 6月1日~6月29日

毎土曜日 午後2時~4時30分 全5回

毎水曜日 午後7時~8時45分 全4回

参加者数 18名(内13名入会)



(教室最終日生徒さん先生もご苦労様)

62歳の手習い

宮嶋重明

私、本年6月度開始の「初心者教室」に参加し、
7月より所沢弓道連盟に加入させて頂きました新
参加者です。

弓道を始めた契機はご多聞に洩れず、定年退職
ですが、動機はと問われるとはるか昔小学生のこ
ろ、村の神社のお祭りの境内の片隅の弓道場で、
おじいさんたちが「カッコ良く」弓を引ている
のを見て憧れたのが動機の芽生えかなと思います。
その後、ずっと忘れ去っておりましたが、所沢に
在住するようになった30年余前、熊野神社の境
内にとっても良い雰囲気弓道場が有るのをみつけ、
そのうちここで弓が引けたらいいな、との思いを
温めてきました。

そして、いよいよ定年を迎え、折よく、市の広
報紙「ところざわ便り」の初心者弓道教室の案内
を拝見し、いざと応募しました。

しかし、教室に入学してみて、少しめげたのは、
受講生の年齢構成でした。団塊世代の60代の方
は数名はいるのではと予想していたのですが、6
0代男性は私一人。 ちょっと場違いかなと思い

つつも、厳しくも温かい先生方と同級生の励ましのお陰で、なんとかここ(9月末)までは頑張れました。(1ヶ月の教室を終了し、神社道場に通り始めて、年齢的にはまだまだ「鼻たれ小僧」であることが良く分かりました。)

そして、内容で先ず戸惑った事は、とにかく、体の使い方、動作の一挙手一投足が今まで馴染んできたスポーツとはかなり異なる点でした。特に、初期「肩下げて!!」のご指導が実践できず、こんなことで「大丈夫かな～」と同級生と一緒に悩み、落ち込みました。

入学以来3ヵ月、先生方の無償の熱心なご指導と、周りの会員の皆様の本当にご親切なアドバイスによりなんとか安土まで矢が届くようになりました。

これからも、健康的な姿勢(すがた)の体得と健康的な精神(こころ)の涵養を目指して頑張る所存ですので今後ともご指導の程、よろしく願い申し上げます。

∞ 投 稿 ∞

錬士に推薦されて

春田孝正

このたび日本弓道連盟の推薦で錬士の称号を頂きました。

昭和63年5月に5段に合格してから25年目になります。毎年3~4回位あちら、こちらと錬士審査に挑戦してきました。この間に名古屋と仙台の審査で一度ずつ一次試験に合格しましたが2度とも二次試験で落ちました。暮の明治神宮での特別審査にも挑戦しましたが、やはり駄目でした。最近は、もう見込みが無いとあきらめていました。

今回推薦をして頂き有り難う御座いました。

私は、昭和25年12月に肺結核の為に右の肋骨を4本(第二肋骨~第五肋骨)切除する手術を受けております。その為に胸骨*と肩胛骨の骨端の距離が左に比較して右側が短いので、矢尺が充分に取れないのが私の最大の難点です。

これも私に与えられた宿命と考えて努力しております。どんな条件でも新しい事に向かって行く事が大切だと思っています。

弓道は胸を拡げ、背筋を伸ばし、姿勢を整え、老化を防止する運動です。これからも毎日身体の動けるうちは、健康保持の為に弓道場に通り続けたいと思っています。

宜しく願い申し上げます。

- 胸骨：胸郭の前面中央で肋骨を繋いでいる骨(岩波国語辞典)

大病を克服して

甲斐久歳

大震災の影響で昨年の(平成24年)仙台定期中央審査は山形に変更になりましたが、今年は平常通り仙台の修復なった立派な道場で審査が行われました。

仙台の審査と言うと「暑い!」汗をかいた肌に濡れが絡んで肌脱ぎが大変。と言う先入観が有りますが、今年の仙台は小雨交じりでは有りましたが非常に涼しく、気になる着物の捌きの心配も無くなりました。ただ、修復して床が新しいせい、滑らないので少々苦勞しました。

立順が、巡り巡って苦手の”大前“になってしまい、ここは度胸を据えて開き直るしかないと思いい雑念を払って入場した所、運よく2本的中し昇段する事が出来ました。

弓道教本には、「現代弓道は的中至上主義では無い」と謳っておりますが、高段の審査ではやはり2本揃えないと審査の対象にはならない様な気がします。だからと言つて的中にばかり気を取られて体配や射法射技が疎かに成ったのでは、これもまた昇段の対象外だと思います。

振り返って見ますと、6段を目指して修練をしている中、平成17年には膀胱癌、そして19年には前立腺癌と2年間で2度も癌の宣告を受けるなんて!正に青天の霹靂!弓道どころかこれで私の人生も終わりだなと覚悟をした時期も有りました。2度の開腹手術を受け、退院後弓道に復帰した頃は胴造りでは術後のお腹が破れそうな気がし

て丹田に重心が治まらず、縦線、横線共に何となく1本筋が通らず、不安定な弓を引いてる時期も有りましたが、我慢して続けたお蔭で今日を迎えることが出来ました。

弓道は私にとって、生涯学習であり生涯スポーツであります。今年の11月には70歳に成りますが、体力の続く限り道場に通って弓友の皆さんと楽しく弓を引きたいと願っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

五段に合格して

奥富 季乃

6月16日、ぐんま弓道場にて、五段合格いただきました。

今回の審査は、今までの審査と心境が違っていたように思います。今までは、「今回は合格したいな」とか、「うまくいけば合格するかな」、また、審査会場に入っても、逃げ出したくなるような後ろ向きの気持ちでしたが、それが全くなく、「今の自分を出すまで」という気持ちになりました。別の言い方をすれば、開き直っていたのかもしれない。

合格して、先生方、弓友に、また、講習会や審査会場でお会いした方たちに、「おめでとう」の言葉をいただく度に、じわじわと合格したことを実感しています。

終わりに、ご指導いただいた先生方、共に稽古した弓友の皆様、ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。そして、弓道ができる環境にあることを考えると、感謝しかありません。

四段に合格して

竹下 正博

お陰さまで2013年5月、日高市文化体育館弓道場での審査で四段の認許を頂きました。

色々教えて頂いた先生方や付合って頂いた同僚の皆さんに心からお礼申し上げます。

教えて頂いた事が中々実行出来ず、「やらないのではなく、出来ないのです」と言い訳しながらも、

諦めずに継続して受審したのが良かったのだと感謝しています。幸いにも2本的中しての合格でしたが、何故かこの時は締切り間近だった次回審査申込を、書類は作成したものの提出しないでの受審でした。結果的には「背水の陣」との心境の産物なのかも知れません。

一つの壁を突破したのかなと「ホッ!」とした気の緩みからか、以降の練習、講習、射会では、射のバランスが崩れ、矢も乱れることが多く、結果が伴わない日が続きました。そんなある時、自分の射をビデオで見る機会がありました。結果は冷や汗物で「こんな射を人様に見せていたのか!」と大変恥かしい思いをしました。「これではいけない」と思い、改めて「四段の射」とはどんな物か審査規程の資格基準を読み直してみました。

参段：射型定まり、体配落ち着き、氣息整い、射術の運用が法に従い、矢飛び直く的中や、確実な者
四段：前項の要素に加え氣息正しく、離れ鋭く、的中確実の域に達した者

難しい言葉が沢山並んでいますが、要は基本を確実に実行して、しっかりと的中させる事が大切だと理解して、以後日頃から、射が雑にならない様、丁寧な射を行う様にしています。

五段：射型・射術・体配共に法に適って射品現れ、精励の功特に認められる者

とあります。

自分が何処まで進めるか分かりませんが、色々教えて頂ける先生方や、付合って頂ける同僚の皆さんに感謝しながら、これからも頑張っていくと思いますので宜しく願い申し上げます。

四段審査前後の事

小山 等

今回、5月12日の日高審査で四段に合格することができました。日頃の先生方を始め先輩の皆様のご指導のお陰と感謝申し上げます。有難うございました。

審査一週間前の所沢市民武道館の西部支部四段以下の講習会の前日は、武道館勤務でした。

講習会の受講者が84名と聞いていたので、午

後八時過ぎに同僚と弓道場に行き、弓立て保管庫の引き戸を開け弓立を出していました。

その時、N君が手伝いますと言ってくれたが一脚、組立てれば足りると手伝いを断りました。

弓立のひもをはずしていると背後から突然、大声で危ないと声がしたので、私は反射的に体が反応し危険を避けました。

たが、倒れてきた長机に左四指が強叩されたと同時に激痛が走り、よける時に右足首と小指に体重がかかり捻挫したが左指の激痛で右足の痛みも感じませんでした。

早速同僚に連絡して保冷剤と包帯を持って来て頂き応急処置をして頂きました。

勤務終了時間も過ぎ帰宅しましたがその日はあいにく雨が降っていました。

運転中交差点を曲がるたびにワイパースイッチに左指が当たり痛みが走る為、車を止めてはスイッチを切りの繰り返しでようやく我が家に辿りつきました。

審査日も左指と右足は痛みを感じ最悪の状態でした。立ち順はスーパー大前で入場しましたが、緊張感で辛い痛みも忘れ、射も大きく体で感じて引け、皆中でした。

怪我をしてから2ヶ月過ぎて、左4指の骨にひびが入っていたが、医者に行かず自力で直しました。

医者に行き左手をギブスで固定されていたら2ヶ月以上も運転も、我が家の仕事も、弓もできなかったと思うので、あえて医者にも行かずに自力で直したことが正しかったと思われるが、左指の鈍痛はいまも少し残っています。

幸運に恵まれて

黒木智哉

5月12日、朝から清々しい晴天に恵まれ、気持ちのいい審査日を迎えられました。

今回は四段という事で不慣れな肌脱ぎ動作が不安の中、立ち順が張り出されました。

「6番」 またまた大前！(今まで審査5回中 4回が大前) これで自分のペースで出来ると思い、

思いっきりやって審査の先生方に見て頂こうと開き直りました。

いよいよ本番。少し汗ばむ陽気の中、肌脱ぎは大きなミスもなく行射、甲矢は12時に外れたか・・・？。乙矢は2時の隅に何とか入り、片矢では微妙だなと思い終了しました。

着替えを終え、残っている竹下さんの応援に駆け付けたところ、関口さんに拍手で迎えられ「二本とも入ってましたよ」とそこで初めて知りました。結果はお陰様で合格頂きました。

これからは四段として恥ずかしくないよう精進して参りますので、諸先生方を始め先輩方にご指導のほど宜しくお願い致します。

有難うございました。

【競技部 (スポーツ少年団含む)】

《所弓連主催射会》

月例射会 (5月18日)

(近的44名、遠的24名参加 市弓道場)

《遠的》

1位 下田 徹 2位 松寄恭子 3位 小林康則
4位 平山夏子 5位 中村徳海

《近的》

(2段以下)

1位 中根幸二 2位 小島理恵 3位 福田泰平
(3・4段)

1位 中村徳海 2位 中村康代 3位 小山 等
(5段以上)

1位 下田 徹 2位 永島英男 3位 杉山久美子

月例射会 (6月2日) (32名参加 武道館)

《近的》

(3段以下)

1位 伊藤 颯 2位 関口二郎 3位 深見恵子
(4段)

1位 星川三樹男 2位 奥富季乃 3位 松本裕子
(5段以上)

1位 粕谷吉一 2位 松寄恭子 3位 永島英男

月例射会(7月7日)(57名参加 武道館)

《近的》

(2段以下)

1位 伊藤 颯 2位 中根幸二 3位 松村峰裕

(3・4段)

1位 藤田 良 2位 黒木智哉 3位 関口二郎

(5段以上)

1位 下田 徹 2位 新家 透 3位 増田裕子
(特別賞)

2段以下 伊藤祐二 横山海友

3・4段 松本裕子 竹下正博

5段以上 奥富季乃 松寄 昇

月例射会(8月18日)(52名参加 武道館)

《近的》

(2段以下)

1位 中根幸二 2位 伊藤祐二 3位 新井忠文

(3・4段)

1位 中村徳海 2位 藤田 良 3位 土井政明

(5段以上)

1位 下田 徹 2位 新家 透 3位 粕谷吉一
(特別賞)

8位(八月に因み) 藤田 良

市民弓道大会(9月16日)

台風18号来襲のため中止

月例射会(10月6日)

(近的37名、遠的27名参加 市弓道場)

《遠的》

1位 瀬賀邦夫 2位 藤田 良 3位 粕谷吉一

4位 関口二郎 5位 松寄恭子

《近的》

(3段以下)

1位 関口二郎 2位 土井政明 3位 福田泰平

(4段)

1位 中村徳海 2位 吉田明子 3位 藤田 良

(5段以上)

1位 小林康則 2位 竹下 眸 3位 住田真美枝

所沢市青少年三道大会(弓道の部)(11月10日)

(中学生以下15名、高校生81名 武道館)

《小・中学生の部団体》

1位 スポ少A 甲斐健太 黒子暁和 渡邊涼介

2位 スポ少E 渡邊乃恵 鈴木流渚 長谷川栞

3位 スポ少C 小林実乃梨 中牧万優 青山千桂

《小・中学生の部個人》

1位 甲斐健太 2位 長谷川栞 3位 青山千桂

《高校生の部団体》

1位 所沢商C 根津詩織 小澤美香 小林美由紀

2位 所沢高A 浦田朱子 安田美咲 小峰綾乃

3位 秋草E 神田優希 松井直美 柳田紗生花

《高校男子初級の部個人》

1位 松葉大輝 2位 水村祐太 3位 早川知宏

《高校女子初級の部個人》

1位 井口絵梨香 2位 松井直美 3位 鈴木花衣

《高校男子上級の部個人》

参加者なし

《高校女子上級の部個人》

1位 根津詩織 2位 秋山江梨 3位 安田美咲

《個人総合優勝》

根津詩織(所沢商業高校)



(小・中学生の部の行射)

青少年三道大会を終えて

審判長 上橋 宏

11月10日(日)に青少年育成所沢市民会議主催の青少年三道大会(弓道の部)が、所沢市弓道連盟会員皆様のご協力により無事終了することができました。ありがとうございました。

総合開会式は、これまで持ち回りで担当している大会幹事の実施場所で行っていたため、市民武道館で2回、市民体育館で1回でしたが、今後は参加人数の多い剣道連盟の大会会場である市民体育館で行うことになりました。

総合開会式は9時00分からであり、優勝カップ返還の小・中学生の部団体優勝3名、高校生の部団体優勝3名、個人総合優勝1名、そして役員5名が参加しました。弓道の部の開会式は9時40分に予定していましたが、総合開会式終了後市民体育館から市民武道館への移動時間もあり、10時近くになりました。

今年は男子の県高校弓道選手権があり、高校男子上級の部の参加者無しでしたが、全体で96名と昨年より34名多い参加となりました。若さと熱戦で射会が進められ、終了したのは午後2時近くになってしまいました。ただ昼頃には雨が降りだす予想でしたが、生徒が帰り着く頃までは雨がほとんど降らなかったのは幸いでした。

個人総合優勝は高校女子上級の根津さんですが、会をしっかり持って大きく素直な離れを行っていました。高校以前の弓歴はわかりませんが、高校1年半余でここまで達成したということに感心するとともに、会がなかなか持てない我が身としては見習わなければならないと思いました。

第46回武州大会(11月23日) (武道館)

1位 山口 純(茨城) 2位 加藤幸大(東洋大)
 3位 毛利大倫(八潮高) 4位 山田大介(所弓連)
 5位 兼城和香(高千穂大) 6位 安野雄次(小川)
 7位 野上洋平(高千穂大) 8位 田中俊光(東京渋)
 9位 木村圭佑(坂戸西高) 10位 松本英悟(川越高)
 11位 海老原直人(茨城) 12位 中井和昌(国土館大)
 13位 近藤愛守真(寄居城北高) 14位 坂本裕樹(城西大)
 15位 福崎雅樹(所北高) 16位 田崎真悟(櫻弓会)
 17位 合津 雄(飯能) 18位 富高 彰(浦和駒場)
 19位 森本ひかる 20位 相川義明(東京品)
 21位 松田康平(川越南高) 22位 松沢柚子(川口北高)
 23位 田中正迪(駒場弓友会) 24位 丸山康弘(横瀬)
 25位 新井紀哉(櫻弓会)



(武州大会予選での行射)

《対外競技会》

秩父神社奉納第55回埼玉県下武道(弓道)大会(4月29日)秩父第一弓道場 参加者54名
 《中学生の部団体》

1位

所沢スポ少A 林 雅茂 末廣侑也 奥泉優斗

2位

所沢スポ少E 渡邊乃恵 鈴木流渚 長谷川栞

4位

所沢スポ少C 金井雄太 伊藤 颯 横山海友

《中学生の部個人》

1位 鈴木流渚 2位 横山海友

《一般の部団体》

2位 所弓連G 中村徳海 澤田靖子 下田 徹

3位 所弓連K 粕谷吉一 篠原一郎 永島英男

5位 所弓連L 嶺美智子 奥富季乃 三好啓子

《一般の部個人》

2位 藤田 良 3位 下田 徹 4位 粕谷吉一

入間市近隣親善弓道大会(5月3日)参加25名
 《個人》

2位 小林康則 3位 下田 徹 4位 住田眞美枝

13位 熊井紀一

ねんりんピック予選大会(5月13) 参加者6名
 選考選手 三好啓子 平山夏子 永田欽一

埼玉県弓道選手権大会等(5月25日26日)

参加者 称号者の部:12名、有段者の部:7名

《県弓道選手権 称号者の部》

2位 下田 徹 全弓連会長楯 下田 徹

《関東三県及び全日本出場選手2次選考会候補選手》

下田 徹 永島英男

♪～♪～ COFFEE・TIME ♪～♪～

あるご高齢の先生のお話しですが、お一人ながら生活はきちんとされて食事も食物繊維の摂取や塩分控えめなど栄養のバランスに気を使われ、日に一度はお食事をつくられています。弓道場へは法事や大きな健康診断などがあるとき以外は、午前中のほぼきまった時間に見えられて、誰彼となく懇切な指導をされています。

そんな先生が珍しく前日の予告なしに道場に遅く見えられました。どの道場でも平日の午前中の練習参加者は顔ぶれもほぼ同じで、話すこともまた同じことの繰り返しですが、先生のこの遅刻は皆さんのかっこの関心をよび、口々に「先生、お家になにかあったのですか、交通事故があつて遅くなったのですか」、「先生、心配するので遅くなる時は前の日に教えてくださいね」などなど、さらには「先生、今日は何月何日ですか」と言う輩までおりました。

それに応じて話されたのはつぎのようなお話でした。

いつも卵を買うときは一人のため4個か6個と決めていたのですが、スーパーのバーゲンでついつい10個入りを買ってしまい毎日毎日たくさん卵ばかり食べるわけにもいなくて、とうとう賞味期限が切れて廃棄せざるをえなくなりました。今日が生ゴミ出しの日なので、その残った1・2個の卵を水と共に鍋に入れて火にかけ、見守りながらコトコトと硬くゆで卵にしてゴミ袋に入れて出してから道場に来た、と遅れた訳を話されました。

その場に居合わせた者は皆肅然として襟を正しましたね、今年の梅雨明け35度以上の猛暑が続いた数日間の内のある日の市弓道場でのことでした。

Mr. KaTaBaMi

埼玉県実年者弓道選手権大会(6月2日)

参加者11名

個人 2位 下田 徹 4位 藤原敬一

埼玉県弓道遠的選手権大会兼全日本遠的選手権大会出場選手選考会(6月30日)

男子5段以上 優勝 粕谷吉一

《全日本遠的選手権出場選手2次選考会(7月6日)》

出場者男子 粕谷吉一(決定) 女子 平山夏子

読売杯 兼 県体予選会 兼 寿射会(8月4日)

参加者180名(団体57チーム、個人9名)

内所弓連57名

読売杯

1位 粕谷吉一 3位 松寄 昇 4位 下田 徹

5位 藤田 良

寿射会

1位 下田 徹

県体選手

(三段以下の部)

中根幸二 関口研二 関口二郎

(四・五段の部)

藤田 良 水口 清 星川三樹男

(女子の部)

①深見恵子 黒木宝子 片平朋江

②中村康代 土井恵美子 澤田靖子

(称号の部)

①松寄 昇 青田 昇 草賀 淳

②粕谷吉一 篠原一郎 永島英男

西部支部選手権大会 兼 県武道大会選手選考会
(9月7日) 参加146名(団体45チーム 個人6名) 内所弓連 50名 スポ少5名

西部支部選手権

団体 2位 小林孝則 中村徳海 下田 徹
個人 優勝 下田 徹 2位 平山夏子
3位 粕谷吉一 4位 中村徳海

県武道大会選手選考

男子 下田 徹 粕谷吉一 中村徳海 藤田 良
女子 平山夏子 松本裕子

埼玉県勤労者弓道選手権大会(9月8日)

所弓連3名参加入賞なし

第26回県民総合体育大会(9月22日)

所弓連6チーム参加

4・5段の部遠的

団体優勝 藤田 良 水口 清 星川三樹男
個人優勝 藤田 良

称号者の部遠的

団体優勝 粕谷吉一 篠原一郎 永島英男
個人優勝 永島英男

第54回関東地域弓道選抜選手権(10月6日甲府市)

近的・称号者の部 準優勝 下田 徹

第37回埼弓連女子部弓道大会(10月20日)

所弓連 14名参加

四・五段の部 2位 及び 技能賞 澤田靖子

全日本実業団弓道大会(10月26日伊勢市)

近的・女子の部 4位 石川淳子

西部・中部支部親善射会(10月27日)

中部101名、西部60名、内所弓連22名

個人 12位 藤原敬一 17位 松寄 昇
18位 奥富季乃

【スポーツ少年団】

(*スポーツ少年団の記事は、一部重掲、各種射会記録は競技部にも掲載しています。)

平成25年度スポーツ少年団初心者教室

(5月18日～6月22日まで 毎週土曜日)

参加者 15名(中学生4名 小学生11名)

修了者 13名(中学生4名 小学生9名)

平成25年度保護者会総会(6月30日)

新入団員 9名(中学生2名 小学生7名)

全日本少年少女武道錬成大会(弓道)(7月20日)

日本武道館)

中学生 男子 3チーム 女子 1チーム参加

全チーム予選敗退

県民総合体育大会(弓道中学の部)(7月21日)

秩父第一弓道場参加 中学生 男子4チーム

女子 1チーム 個人1名参加)

(団体男子優勝)

Dチーム 横山海友 伊藤 颯 栗原大智

(個人男子優勝)

栗原大智

(個人女子優勝)

吉田万里映

(上記4名は8/16～全国中学生弓道大会 埼玉県代表として本選出場決定)

全国中学生弓道大会(8月16日～17日明治神宮中央道場)

(男子団体)

横山海友 伊藤 颯 栗原大智

(男子個人)

栗原大智

(女子個人)

吉田万里映

すべて予選敗退

所沢市スポーツ少年団弓道交流大会(10月20日
武道館)

参加総数 74名、スポ少18名参加(中学生12
名、小学生6名)

(初級の部)

1位 豊田琢真 2位 青山千桂 3位 藤野雄吏
(中学生男子の部)

1位 伊藤 颯

∞ 投 稿 (の 2) ∞

参段に合格

深見 恵子

今年の2月10日上尾の県立武道館で参段の審査を受け、合格する事ができました。

審査を受けるのは実に6年ぶりの事でした。本当はもう少し早く受けたかったのですが、体調を崩したり、仕事が忙しかったりと練習を一年程お休みしていました。

少し落ち着き今年の春から練習を再開する事ができました。

再開当初は心配も忘れてしまっていて、矢尺もとる事ができませんでした。

普段の練習時間も平日の夜8時頃からと少なく今のように弓をひけるように戻るまで時間がかかりました。

そんな中、練習を続けていくうちに参段を目標に審査を受けようと思い、講習会や試合にできる限り参加しました。日頃の練習にはない緊張感がありとても勉強になりました。学科の勉強もできる限りがんばりました。

審査当日は今までの練習のひとつひとつを思い出し臨む事ができました。その結果、何とか参段の認許を頂く事ができました。

今回の合格はひとえに諸先生方、先輩方、弓友の皆様あってこそだと思います。いつも温かいお言葉をかけていただき本当にありがとうございます。これからもご指導の程、よろしくお願ひ致します。

やっぱり弓道って楽しいな

名雪正義

戦争のない日本、平穏な日々、週一回の道場通い、のんびり平和モードの私だったのですが・・・。

四月の法事に親戚一同が集まって、その時「何！町田のオジサンも弓道やっているの？」しかも同じ『式段』。

「何か同じ式段でイヤだなー」幸いにも相手は、今は吹き矢に夢中、今のうちに、『参段』に昇段してしまおうと、尻に火がついた。

先生も「目標を持って、それに努力しなさい。」とおっしゃっていたし、とりあえず一年計画で参段昇段計画開始。まずは「五月の日高からだ」やるぞー。

当日、審査日は暑く、自分の射は、今一步と言う感じだった、しかし、結果はなんと一回目で、合格。自分でも信じられなかった乙矢はかなりはずれたのに・・・。

今迄先生ありがとう。何年も見捨てずに指導して下さい感謝してます。

弓道を始めたころは、自己目標『参段』までは、やめないでがんばろう、と思っていたが、月例会で皆に「オメデトウ」「おめでとう」なんて言われて、嬉しくなって、こんな事って結婚式以来かも、「やっぱり弓道って楽しいな」今後も目標を持ってガンバッテみよう、先生これからも見捨てずによろしくお願ひ致します。

弓道を始めて

家長知史

68歳まで現役を続けて引退、完璧な会社人間だった私が、これからをどう生きるか模索していた時に市の広報で弓道の初心者教室を知り、今まで見たことも、もちろん触ったこともない弓道に初めて興味を持ち応募。

69歳で、当然私が最年長、最初はこんな体力で続けられるかと不安でしたが先生方、諸先輩の親切な指導と仲間に助けられて続けることが出来ました。

弓を引く人の毅然とした姿勢を初めて見て、的に中る矢を見たときの感動、自分自身が弓を引き、初めて的に中った音を感じたときの感動、誰が引いても、いつも同じ距離と同じ的との闘いは、人と争うことの嫌いな私には大きな魅力となりました。

昨年6月、大宮公園での参段審査を受審しました、当時は何度か挑戦していればいつかは合格できるだろうと安易な気持ちで臨みましたが、もちろん不合格。振り返ってみれば、練習時間だけを無駄に積み重ねていたことに気づきました。

目標を決め、この一年は先生方、諸先輩の方々にご指導頂き、苦手な、弓返りと残身に努力を傾注、審査直前には、審査会場での入場から退場までの過程を、全て成功したイメージを思い描きながら寝床につきました。

再度大宮公園での審査に挑戦、入場からイメージの通りに進行、甲矢的中、そして乙矢を番えるところで腕時計をしていることを指摘され、役員の方に外して頂きこれで駄目だと思い、心を落ち着けて、慌てることなく乙矢も行射が出来た中。

出口で役員の方から「折角束ったのもったいない」と言われましたが、不合格は覚悟していただけに不思議と清々しい気分でした。

この私が69歳で健康維持の為に始めて、73歳で参段の認許を頂けるとは想像もしませんでした、これも先生方、諸先輩のご指導と仲間に使われたお蔭です。

改めてお礼を申し上げます。これからも格段の上達は望めませんが、こつこつと努力して行きたいと思っております、今後共よろしく願致します。

式段合格

松浦篤子

5月の日高で式段もらっちゃいました。今回は本当に“もらっちゃった!?”という感じでびっくりしています。

1月から、フルタイムで仕事に復帰したため、週3回ぐらいは通っていた道場も、週1回がやっとになりました。そのせいかどうか、先生方から、

「みるたびに下手になるね。」とのお言葉を口々に頂き、それならば受審は早い方がよいのでは、と日高へ。

術科はいつものとおり中らず、学科は、式段ってこんな問題がでるんだ…って感じ。ふわふわとした感じで終わってしまいました。ただ1つ出来たのは、前日に先生がおっしゃった「なにをしても堂々としていなさい。」だけだったかなという感じでした。

初段に3回もかかってしまったので、2段は4回?と思っていたのでとてもうれしく思っています。今は余り稽古には通えないので、せめて歩き方の練習になるかなと思い、西武新宿から西新宿まで1300歩あまりを姿勢を意識して歩くようにしています(さすがに、すり足はしていませんが)。

稽古に頻繁に通っていたときは、何も感じていなかったのですが、通えなくなると、居心地よかったんだな…っと。道場なのに余り居心地がよいのは問題かもしれませんが。そろそろ週3の稽古に復帰しますのでよろしく願いたします。

式段の道のりも遠かった

新井忠文

前回の式段の審査は、緊張しすぎて体が思うように動かず、不合格になってしまった。

今回は基本動作(体配)と行射がきちんと出来るように、前日まで弓道場に通って練習を重ねた。

審査の当日は、大雨が降りしきる大宮公園弓道場へ、弓矢と胴着が肩に食い込むほど感じながら、弓友2人と池の周りを20分間歩いてやっとの思いで会場に辿り着いた。

射場に入場する前に、準備体操をして、第二控えて待っている間に、今度こそ、最後まで気を抜かないように、集中力を高めた。

審査は4人立ちの3立ち目で、大前の方が打ち起こしても直ぐに立たなかったため、後方の審査員スタッフから促されて、あわてることなく立ち上がり、打ち起こして弓を引いて、甲矢がなんと的中した。乙矢は的を外したが、残身まで気を抜

かずにがんばった。

夕方4時すぎに結果の発表があった。自分の受験番号をおそるおそる見に行ったところ同期の仲間から、受かっているよ、と言われてホットした。

来る時に重かった荷物も、帰り際に軽く足取りも軽かった。

基本を大切にすることが、上段につながる道と式段の審査で実感した。

ありがとうございました。

初段に合格して

長谷川 昌史

平成25年5月12日、日高市文化体育館での審査に於いて初段に合格することができました。昨年6月の初心者講習会に参加し約1年、68年間の人生で初めて「段」と言えるものを頂くことができ喜び一杯です。この個人的喜びに向け、武道館及び熊野神社にて多くの諸先輩・諸先生方から懇切な数々のご指導を頂き、心から感謝致しております。

弓道への関心は20歳の頃よりありましたが、大学入学時に弓道部に入りたいと話す機会がありその際、甲子園野球出場経験者である下宿の親父さんから「弓道なんて・」と言われたその一言だけで、気が弱い自分は入部断念した苦い思い出があります。それに続くサラリーマン生活中はともそのようなゆとりもなく、ほゞ半世紀を経てようやく弓道に触れる願いがかなったという経緯です。この永い願いのブランクをこれから埋め少しでも向上したいとの思いを致しております。

審査に向けては、教えて頂く手順や技術がなかなか覚えられず、何度も何度も同じご指導・ご注意を受け恥かしい思いをしましたが、ある程度は歳のせいだと開き直り喰らいついていくしかないと感じを決めました。特に坐射の手順は不安だらけでしたが、武道館での寒稽古と熊野神社での昼前の稽古参加で、なんとか受審する自信が持てるようになりました。また、審査場への場慣れのため数日前一人で日高アリーナへ出掛け、他道場の人と顔見知りになれたことが緊張緩和に幾らかで

も役立ったと思われます。

今後も、喰らいつきの精神で頑張りますのでよろしくご指導の程お願い申し上げます。

初段審査に合格して

そまやま
杣山 博文

この度、六月十六日の大宮公園弓道場での審査におきまして初段に合格することができました。入門から約4年、大変長い道のりでした。実を申しますと私は、2回も初心者教室を受講しました。1回目の初心者教室を終了し、4ヶ月程経ち、そろそろ審査を受けたらと話を頂きました。そんな折り、体調を崩し入院、幸いにも直ぐに完治し練習再開と思った矢先、またもや目の病気になりました。4回もの入退院を繰り返し、完治するまでに約1年半かかりました。少し精神的にまいっていたこともあり、また弓道を始めるきっかけと、本年2月の初心者教室を受講しました。おかげさまで私には、同期と言える弓友が皆さんより倍もいます。

さて、審査ですが、当日は雨、会場に着くと控えの部屋には、足の踏み場もない受審者がおられ少し面食らいました。聞くと本日の受審者300人とのこと。教室の仲間を見つけて支度をしている内に少し緊張がほぐれてきました。

午前中は実技、午後に筆記の試験を受けました。実技では4人立ちの2立ち目、入場して直ぐ本座まで進み座位すると思っていましたら、3歩進んで本座へ、一瞬ハットしました。2射とも真直ぐ飛んで的の左右の安土に着地し、あっと言う間に実技は終わりました。

午後の筆記、予想していた傾向の出題だったのでほっとしましたが、間違いの訂正も多くありただでさえ汚い字がさらに汚く、資格試験以来、十数年ぶりの緊張感を覚えました。

全ての審査が終えて結果の発表があり、自分の受験番号に合格の旨を見つけ胸をなでおろしました。

合格できましたのは、多くの先生方、先輩方の

ご指導と、弓友の皆様の励ましのおかげと、心より御礼申し上げます。どうぞこれからも宜しくお願い申し上げます。

∞ 今後の主要行事 ∞

初射会及び新年懇親会の開催日が1月19日に変更になりましたのでご注意ください。なお、開催時間は初射会9時、新年懇親会13時30分は変更ありません。

- 12月15日 納射会 武道館
- 12月22日 大掃除 市弓道場・武道館
- 1月 1日 新年百射会 市弓道場
- 1月 5日 寒稽古1月9日まで5日間
市弓道場・武道館
- 1月19日 初射会、新年懇親会 市弓道場外
- 1月25日 指導者講習会 武道館
- 1月26日 理事会 武道館
- 2月 2日 第19回武道祭
- 3月 9日 月例射会(遠的、近的) 市弓道場
- 3月15日 理事会 武道館
- 3月23日 所沢市弓道連盟総会 神社社務所

∞ 会長月誌 ∞

平成25年4月10日

所沢市体育協会役員会

4月12日

熊野神社春期例大祭

- ・玉串奉奠

4月18日

市弓道場指定管理者選定委員会視察立会

(同時立会者 理事長)

4月28日

埼弓連評議員会

- ・会長：岡田義助先生、監事：坂本恵先生、
監事：綾戸岩雄先生 に決定

5月18日

県連理事会

- ・会 長 岡田義助

副会長 坂本武彦 浅野有三 岡芹喜行
内河輝臣

・理事長 本橋民雄

・副理事長 瀧上三郎

(以下略)

5月23日

スポーツ振興課からメール

- ・26年度からの指定管理者は申請で可と連絡

5月29日

体育協会理事会

6月 8日

体育協会評議委員会(同草賀体協監事)

7月 1日

所沢市指定管理者申請団体ヒアリング(同飯島
理事長、甲斐総務部長、海老名会計部長)

7月 6日

県連総務委員会

- ・業務用会員名簿(7月31日現在)作成を決定

7月12日

所沢シティマラソン大会実行委員会(欠席)

7月13日

青少年三道大会事前会議

・総合開会式を毎回市民体育館で行う事とした
体育協会役員会

- ・団体部会、専門委員会の人選外

7月14日

お中元の挨拶回り

- ・熊野神社氏子会会長交代
- ・西新井町町内会長交代

7月14日

八雲神社例祭(代理 飯島理事長)

7月29日

指定管理者認定通知を受領

8月11日

武道祭検討委員会に出席

8月29日

青少年三道大会打ち合わせ会に出席(同行上橋)

8月30日

体育協会理事会に出席

9月 3日

所沢シティマラソン大会実行委員会総務部会

9月 8日

武道祭検討委員会(同行上橋)

- ・弓道は弓道場で行う事に決定

9月20日

スポーツ振興課訪問(同行上橋)

- ・市民弓道大会台風のため中止の報告など

10月 2日

武道館管理者交代に伴う要望書を所沢市へ提出

10月 9日

熊野神社秋の例祭

10月10日

26年度よりの指定管理者の指定連絡受け取り

10月11日

体育協会理事会

- ・25年度主催事業について
- ・体協各種規程について

∞ お悔やみ ∞

11月11日、弓道四段鈴木欣三さんが脳幹出血のため逝去されました。享年91歳でした。

鈴木さんは、昭和46年6月、その年の3月に熊野神社境内に竣工したばかりの市弓道場における第1回初心者弓道教室の卒業生で、以来42年余に亘って所弓連の会員として、また地元とのパイプ役として活躍して来られました。

大長老ながら偉ぶるところもなく、欣三さん、欣三さんと皆から親しまれ、近年は副会長として連盟の活動にご尽力頂きましたが、総会における名議長役、また武州大会でのあの高らかな開会宣言などが思い出されます。

亡くなられる間際までお元気でいらしたとのことで、突然の訃報、まことに残念なことであります。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

∞ 編集後記 ∞

今秋の東京国体に出場した二・三県の国体選手が、9月の末に市弓道場に事前の調整に見えられた。この道場を選んだのは、国体弓道会場の行われる東京都小金井市から近いこと、さらに遠的場を備えていることが理由だ。

国体選手の行射を見るのは初めてではないが、今回のように三名を同時に近くで拝見することはかつてなかった。その感想を一言で云えば「群としての美しさ」とでも表現するしかない感動を覚えた。例えれば転勤の途路で姫路城の各天守はそれ自身優美なのを大天守と小天守が群立している様を観た時と同じ様な感動を受けた。

選手一人一人の完成されつつある射法・射技からもたらされた的確さ、体配のゆるぎなさ、全体の中のバランスがとれた調和が、個も全体も共に素晴らしい「群としての美しさ」「群としての射品・射格」があるようにも感じられた。

弓道では射礼や行射の際、単独とともに複数でのそれが定められているのは、やはり「個はもとより全体としての射品・射格」も重視しているのかもしれないと感じさせられる事であった。

編集委員

飯島稔凱 甲斐久歳 小林康則
山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟会報誌 所弓便 第12号

発行日 平成25年11月30日

発行者 所沢市弓道連盟
会長 新家 透